

# PowerX Glossary

用語	説明
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電(陸上、洋上)、水力発電、地熱発電に代表される、自然の力をエネルギー源として持続的に利用することができる電力のこと。略称は再エネ。
自然エネルギー	再生可能エネルギーと同。
再生可能エネルギー100%	PowerX が目指す「再エネ 100%で EV 充電」とは、再生可能エネルギー由来の電力で EV 充電を行い、EV 充電・走行に伴う CO2 の排出をゼロにすること。
消費と発電のバランス調整	電力はそのままと貯める事が出来ないため、電力消費が少ない時間帯・季節は発電を抑制し、反対に電力消費が多い時間帯・季節には発電を増やすことで、消費と発電を一致させている。このバランスの一致により、電力の品質(周波数など)が保たれている。
抑制	バランス調整により、発電を停止している状態のこと。貯めずに発電を抑制する場合、電力は捨てられている。
W(ワット)	電力の瞬間的な大きさ。キロ(k)=千、メガ(M)=百万、ギガ(G)=十億といった単位と併せて使用。例えば 1GW は大型の火力や原子力などの発電所一基に相当。
Wh(ワットアワー)	電力の時間的な量であり、ワット[W]×時間[h]で表される。キロ(k)=千、メガ(M)=百万、ギガ(G)=十億といった単位と併せて使用。例えば 1GW の大型発電所が年間で発電する量は、1GW×24 時間×365 日=8,760GWh であり、一般的な家庭 2 百万件分の年間電力使用量に相当する。
Hypercharger	PowerX の製品のひとつであり、蓄電池搭載型の超急速 EV 充電器。
超急速充電	PowerX としては、100kW~を超急速として定義。海外では、hyper-fast や ultra-fast として呼ばれているのが通例。
急速充電	国内では、充電出力 20~90kW が急速充電と呼ばれている。
普通充電	100~200 ボルトの電圧で EV 充電を行うものであり、充電出力は 3~6kW が国内では一般的。
公共充電器	車の充電規格に依らずに一般利用が可能な充電器のこと。
Charge Station 事業	EV の走行用電力を充電可能なステーション(Charge station) を、Hypercharger を用いて展開する事業。略称 CS 事業。
EV 充電ネットワーク	PowerX の展開する Charge Station をネットワーク化したもの。
充電時間の上限	国内他社が提供する急速充電では、一回あたり 30 分といった充電時間の上限が設けられている事がある。

<b>高圧工事</b>	50kW 以上の急速充電器を電力系統に接続する際、電気の区分は高圧となる。高圧接続の場合、接続するための電気設備の設置や改造工事が法令で求められている。
<b>低圧接続</b>	50kW 未満の充電器を電力系統に接続する際、電気の区分は低圧となる。高圧接続で求められる電気設備や改造工事が不要。PowerX Hypercharger は蓄電池式のため、低圧接続が可能。

2022 年 10 月更新